

2. 配筋資料

1.5 柱

1.5.1 使用材料

コンクリートの設計基準強度	σ_{ck}	21.0(N/mm ²)
コンクリートのヤング係数	E_c	23.5(kN/mm ²)
主鉄筋		SD345
帯鉄筋		SD345
鉄筋のヤング係数	E_s	200(kN/mm ²)

曲げ照査において側面鉄筋を考慮しない（許容応力度法）。

柱の許容せん断応力度 τ_{a1} に補正係数 c_N を考慮しない。

鉄筋量照査時(M_{y0} , M_{ls} 算出)の準拠基準：道示V

1.5.2 鉄筋

(1) 基部主鉄筋

引張側

かぶり (mm)	径	縁端 (mm)	配筋	縁端 (mm)
120	D29	120	130+36@125+130	120

圧縮側

かぶり (mm)	径	縁端 (mm)	配筋	縁端 (mm)
120	D29	120	130+36@125+130	120

右側面

かぶり (mm)	径	縁端 (mm)	配筋	縁端 (mm)
120	D29	120	105+14@125+105	120

左側面

かぶり (mm)	径	縁端 (mm)	配筋	縁端 (mm)
120	D29	120	105+14@125+105	120

※引張側鉄筋比は、0.241%(側方鉄筋は含まない)、0.334%(引張側側方鉄筋を含む)となる。

(2) 帯鉄筋

1) 横拘束筋、斜引張鉄筋

高さ間隔 s (mm)	横拘束筋の断面積 A_h (mm ²)	横拘束筋の有効長 d (mm)	斜引張鉄筋の総断面積 A_w (mm ²)
150	126.70	952.0	760.20

2) せん断耐力算定条件

断面幅 b (mm)	有効高 d (mm)	引張主鉄筋比 p_t (%)
5000	2080	0.334